

令和2年度「資質・能力育成研究会(評価問題研究部門)」

< 世界史A分野 >

テーマ：産業革命

1 評価問題

授業で、次のことについて調べて発表することになりました。

「産業革命時のロンドンのスラム街の様子」



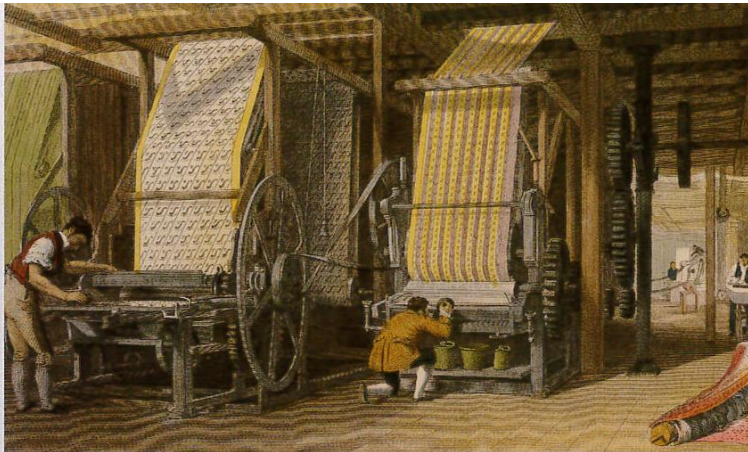
作業指示・条件

- (1) これらの絵のどこが気になったかを挙げる
- (2) (1)で挙げた点と産業革命のつながりを調べて、発表資料を作る
- (3) 提示する資料には、必ず絵や図を使う

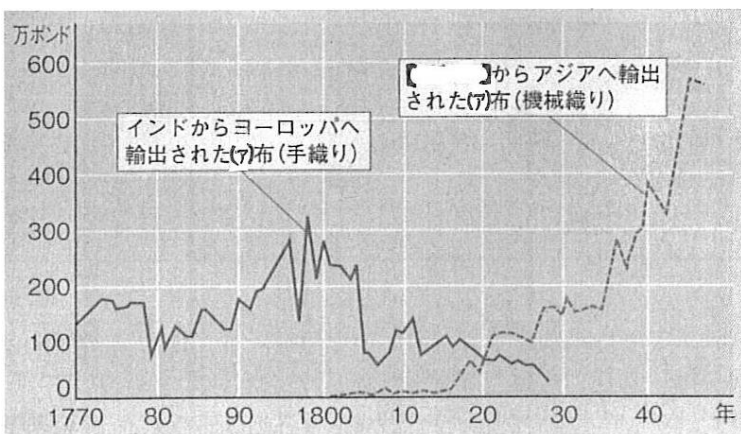
次のA・Bそれぞれの班の発表原稿を見て、各問いに答えなさい。

《 A班 》

気になった点「 人が多いこと 」



①「機械を使った(ア)織物の生産」



②「インド(ア)布と【 】(ア)布」

【 】では、大地主が中小農民の土地などで大規模な農地をつくり、農業資本家にこれを貸し出して経営させる農業革命が起こりました。そのため、土地を失った農民は農業労働者や都市の工業労働者となりました。

一方で、(ア)工業を機械化する技術革新がはじまりました。圧倒的な人気をもっていたインド産の(ア)織物を、【 】製品が安さと品質においてしのぐことが追求されたからです。紡績・織布・動力それぞれの部門における発明は(ア)工業を繁栄させ、資本家は多数の労働者を雇用する機械制の大工場の経営に乗り出しました。このような条件が重なり、人口が都市に集中することになったようです。

また、(ア)工業の発展についてさらに調べました。(ア)織物の原料である綿花の原産地はインド・アメリカ大陸で、そこから各地に伝わりましたが、ヨーロッパでは寒冷な気候のため、良いものが育たなかったようです。

a ヴァスコ＝ダ＝ガマが到達したインドの港カリカットは、(ア)織物の輸出港の一つとして栄えていました。b 産業革命により、【 】は世界最大の(ア)織物生産国・輸出国となりました。

- 問1 文章中の(ア)に入る適語を答えよ。
 問2 文章中の【 】に入る国名を答えよ。
 問3 下線部 a に関連して、カリカットの場所はどこか。右の地図のあ～うから選び、記号で答えよ。



問4 下線部bに関連して、以下の問いに答えよ。

(1)②の図で、【 】・インドに共通している点は何か。

(2)②の図で、【 】・インドの違っている点は何か。

(3)(1)・(2)の結果より、産業革命後のインド社会はどのように変化したと考えられるか。()に入る文を答えよ。

「インドは()する立場となった。」

《 B班 》

気になった点「子どもたちがいること」



③「炭鉱での児童労働の様子」



④「工場で働く少女の一日」

分業がすすんで、女性や子どもも工場や鉱山で働くことが可能となり、子どもも働かされていました。石炭が必要とされた背景には、(イ)によって改良された蒸気機関が、紡績機や力織機などの動力として使用されたことが挙げられます。ほかにも、(ウ)の蒸気機関車やフルトンの蒸気船にも応用され、大量の原料・製品・人間を輸送することを可能にした(エ)革命が起こりました。このような背景が、子どもが労働者として扱われた理由の一つでもあるようです。

調べていくうちに、労働者について気になったので調べました。④の図を資本家の視点から見ると、資本家は【 e 】のために、労働者に【 f 】を強制していたことが分かります。一方、労働者の視点から見ると、【 f 】させられていることが分かります。この点については、のちに工場法が制定され、改善されました。

問5 文章中の(イ)～(エ)に入る適語を答えよ。

問6 文章中の【 e 】、【 f 】に入るセリフを、資本家の視点に立って、④の図を参考にして答えよ。

2 作問の根拠[問4(1)・(2)・(3), 問6]

1) ねらい 思考力, 判断力, 表現力

2) 新学習指導要領の該当項目

「歴史総合」 B近代化と私たち

(1)近代化への問い

交通と貿易, 産業と人口, 権利意識と政治参加や国民の義務, 学校教育, 労働と家族, 移民などに関する資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動を通して, 次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような技能を身につけること。

(ア)資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けること。

イ 次のような思考力, 判断力, 表現力を身につけること。

(ア)近代化に伴う生活や社会の変容について考察し, 問いを表現すること。

「問いを表現する」…資料から情報を読み取ったりまとめたり, 複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより, 生徒が興味・関心をもったこと, 疑問に思ったこと, 追究したいことなどを見いだす学習活動を意味している。

「労働」…労働時間や賃金などを占める資料などを提示し, 工業労働者の増加による社会の変化など, 生徒が歴史的な見方・考え方を働かせて資料から情報を読み取ることができるように指導を工夫する

(2)結び付く世界と日本の開国

ア(イ)産業革命と交通・通信手段の革新, 中国の開港と日本の開国などを基に, 工業化と世界市場の形成を理解すること。

イ(イ)産業革命の影響, 中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して, 主題を設定し, アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し, 表現すること。

〈課題(問い)の設定の例〉

○諸事象の比較に関わる問い

【類似と差異】 [問4(1)・(2)]

「その事象と他の事象を比較すると, どのような共通点と相違点を見いだすことができるだろうか」「その違いが生じたのはなぜだろうか」(【背景や原因】と共有される問い)「共通点に注目すると, どのような傾向が見いだせるだろうか」(【意味や意義と特色(特徴)】と共有される問い)

○事象相互のつながりに関わる問い

【背景や原因】 [問6]

「なぜ, その事象は起こったのだろうか」「この事象の背景にはどのような状況が存在したのだろうか」「あなたは, その事象が起こった最も重要な要因とは何だと考えるか」 「あなたが学習した諸事象の中で, その事象と最も深いつながりがあると考えるのは 何か, それはなぜか」

【歴史的な見通し, 展望】 [問4(3)]

「この事象は, 後の人々にどのような考えや課題をもたらすと考えられるか」「(現在の)この事象は, 過去の類似の事例を参考にすると, その後, どのような展開の可能性があると考えられるか」 「(現在の)この事

象は、この後、どのような展開が望ましいと考えるか、それが実現されるためには、過去の事例を踏まえると、どのようなことが必要なのだろうか」